

2019 年度 小委員会活動成果報告

(2020 年 1 月 31 日作成)

小委員会名	強震観測小委員会		主 査 名：大野 晋 就任年月：2019 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (振動運営委員会)		委員長名：塩原 等 主 査 名：長島一郎
設 置 期 間	2019 年 4 月 ～ 2023 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>強震観測とその利用に関する研究と技術開発を推進し、そのための環境整備を通して、建築物・都市の地震災害軽減に資することを目的とする。</p> <p>初年度：各地域の強震観測に関する情報交換・被害地震の強震観測情報の調査 2年度：観測体制・データ収集・利用方法等に関する現状分析、大会PD 開催 3年度：強震観測データの分析による建物・地盤の地震応答の解明 4年度：強震観測成果をより有効に活用する方法の具体化、シンポジウム開催</p>		
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無		
	<p>主査：大野晋 (東北大学) 幹事：神原浩 (清水建設)・高井伸雄 (北海道大学) 委員：相澤幸治 (気象庁)・赤澤隆士 (地域地盤環境研究所)・笠松健太郎 (鹿島建設)・鹿嶋俊英 (建築研究所)・功刀卓 (防災科学技術研究所)・重藤迪子 (九州大学)・徳光亮一 (大成建設)・飛田潤 (名古屋大学)・中村充 (大林組)・三浦弘之 (広島大学)・吉田治雄 (竹中工務店)</p>		
設置 WG (WG 名：目的)	強震観測成果活用WG：これまでの活動成果をもとに構築・整備を進めている「強震観測アーカイブ」などに基づいて、強震観測成果の活用に関する検討を行う。		
2019年度予算	180,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： http://wiki.arch.ues.tmu.ac.jp/smo_aij/	

項 目	自己評価
委員会開催数	4 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) * 能力開発支援事業委員会承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	<p>1. 被害地震を含む各地域や機関の観測事例、最新の観測機器とシステム、データ活用の動向、強震観測の普及における課題などに関する情報交換と検討を行い、当該分野の連絡会としての機能を果たした。</p> <p>2. 普及資料「強震観測の手引」と基礎資料「国内強震観測台帳」の拡充を行うとともに、それらをまとめた強震観測アーカイブの活用について検討した。</p>
委員会活動の問題点 ・課題	<p>1. 強震観測の普及とデータ活用に向けた継続的な取り組み</p> <p>2. 関連する他の小委員会、関連学協会等との情報交換、連携</p>